ジャケットケーブル 自動皮むき・切断機 0.1-6 mm² WPM-09HT

Model No. WPM-09HT



SPECIFICATIONS

モデル番号	WPM-09HT
ワイヤー断面積	0.1-6.0 mm²
コンジット径	10mm
ストリッピング長さ（ヘッド側）	0-50mm
ストリッピング長さ（テール側）	0-50mm
切断長さ	1~60000mm
寸法	39×35×25cm

WPM-09HTは、0.1-6.0 mm²のジャケットケーブルに対応する卓上型の自動切断・皮むき機である。ケーブルは10 mmの導管を通り、1 mm～60,000 mmの任意の長さに切断され、先端で最大50 mm、後端で最大50 mmの皮むきが行われる。本体は39 x 35 x 25 cmの架台に収まり、これは09グループで共通のシャシである。

6 mm²以下のジャケットケーブルは、手作業の皮むきが最も失敗しやすい領域である。外被は薄く、それに切り込みを入れる刃物は素線にも達し、片端の長い外被窓ともう片端の短い絶縁皮むきは深さが異なる。09HTは先端と後端の皮むきを最大50 mmの独立した2つの値として保持するため、コネクタ側40 mmの外被窓と端子側8 mmの皮むきを、同じ切断長で1回の工程から得られる。切断長が60,000 mmに及ぶため、そのプログラムは60 mのコイル作業と150 mmの短い中継線も、段取り替えなしでカバーする。

09HTはシースケーブルグループで最小の機種であり、最大6 mm²、両端50 mmの皮むき、切断長60 mである。WPM-09HT1は13 mmの導管で10 mm²へ範囲を広げ、先端皮むきを250 mm、切断長を100 mへ延ばす。WPM-09HT2は25 mm²（AWG 8-32）に達し、公差0.002 x Lを保ち、後端皮むき150 mmを追加する。6 mm²と60 mの範囲に留まる利用者は、上位2機種の広い導管や長い皮むきに費用を払う必要がない。

主な特長

1. 10 mmの導管を通して0.1-6.0 mm²に対応する。裸導体ではなく、細いジャケットケーブルの外径に合わせた設計である。

2. 先端0-50 mm、後端0-50 mmの皮むきを2つの独立した値として入力するため、非対称なリード線も段取り変更2回ではなく1つのプログラムで済む。

3. 切断長1-60,000 mm。60 mのコイル材と150 mmの中継線を同じ長さ入力欄で扱える。

4. 切断、先端皮むき、後端皮むきを1サイクルで完了する。完成したリード線は二次的なハンドリングやノギス確認なしで排出される。

5. 39 x 35 x 25 cmの架台はWPM-09BHT、WPM-09T、WPM-09HT1と共通であり、既存の作業台で機種を替えても占有面積と送り高さは変わらない。

6. 最大50 mmの外被窓は刃物の閉止と引き抜きの1ストロークで除去されるため、窓を手で開いてから芯線の上へ戻す必要がない。

技術仕様

項目	仕様
型式	WPM-09HT
機種	ジャケットケーブル用 自動切断・皮むき機
対応電線断面積	0.1-6.0 mm^2
対応管径	10 mm
皮むき長さ（先端）	0-50 mm
皮むき長さ（後端）	0-50 mm
切断長さ	1-60,000 mm
外形寸法	39 x 35 x 25 cm

用途

— 制御・信号ハーネス：0.5-2.5 mm^2の多芯ジャケットケーブルを300〜1,500 mmに切断し、コネクタ側に40 mmの外被窓、端子側に8 mmの皮むきを設ける。

— センサー・アクチュエーターのリード線：0.2-1.0 mm^2のジャケットケーブルに、モールドプラグ用50 mmの窓と基板側の短い導体皮むきを設ける。

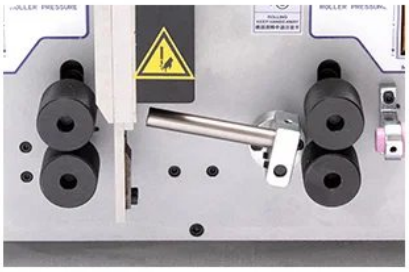
— 家電内部の配線：0.75-1.5 mm^2のジャケットコードを150〜600 mmにバッチ切断し、両端を端子深さまで皮むきする。

— 照明・小型モーターのリード線：1.0-6.0 mm^2のジャケットケーブルを60 mのコイルから取り、定尺に切断する。

— 試験・計測用ケーブル：外被窓が導体皮むきより長い、0.1-0.5 mm^2のジャケットリード線。





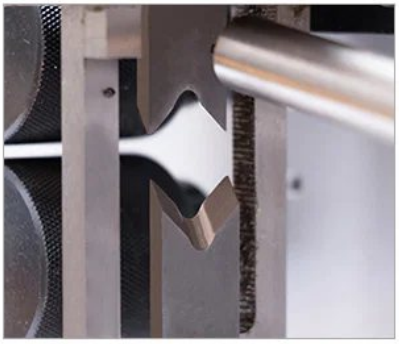


LCD Screen with Programable Setting

Different modes and fast production setup for different applications.

4-Wheel Driving

Ensure the smooth cutting and stripping process.



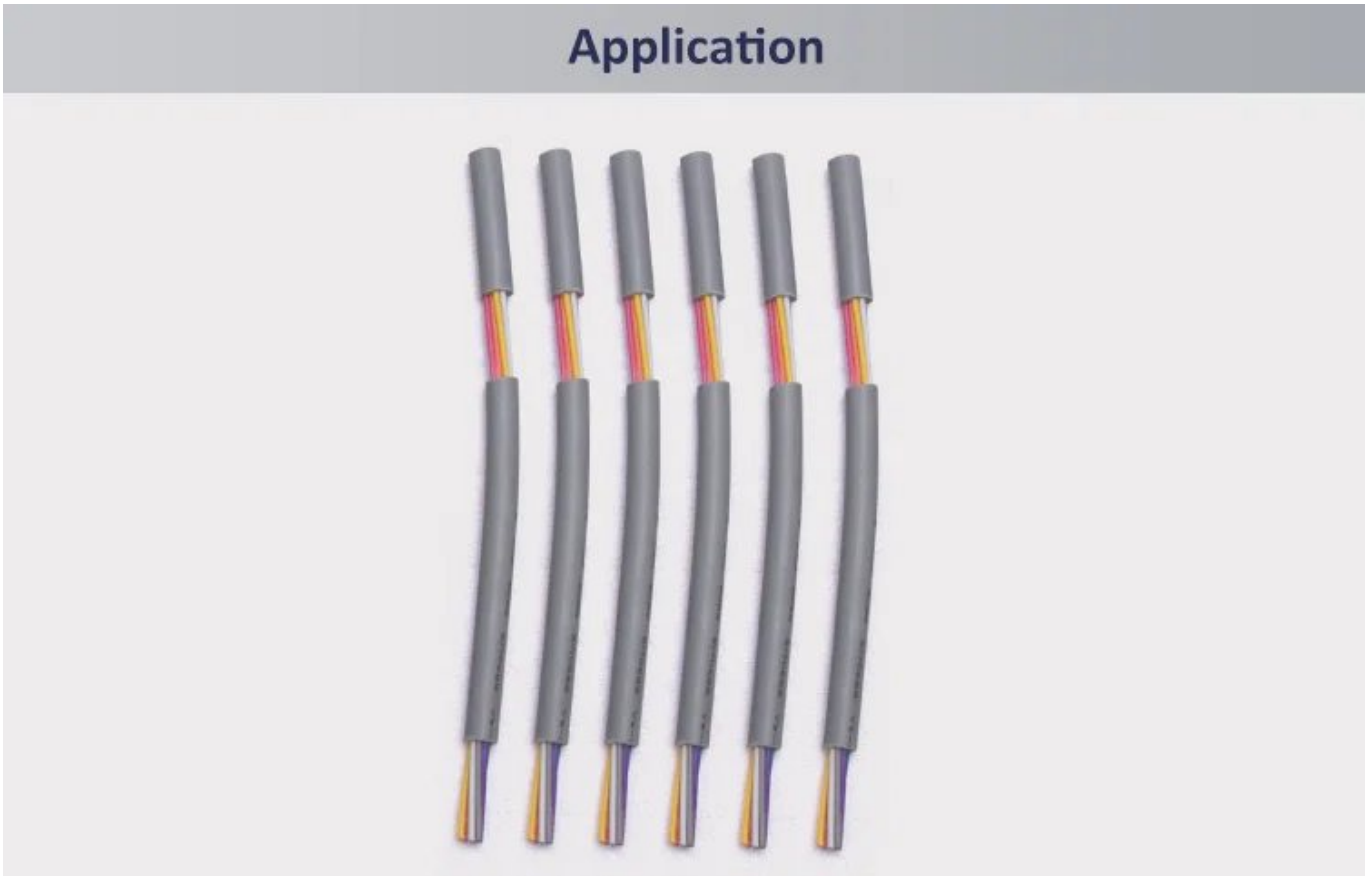


High Speed and Steady Blades

Tungsten steel material is selected.

Standard Parts Prepared

Protective cover, optional guide tubes and pratical toolings.



FAQ

WPM-09HT自動ジャケットケーブル剥皮機のワイヤサイズ範囲と剥皮能力は何ですか?

WPM-09HTは、断面積0.1mm²から6mm²のジャケットケーブルの高精度剥皮用に設計されています。調整可能な剥皮長は0〜50mmで、最大60メートルのワイヤを処理でき、大量の工業用ハーネス製造に最適です。

この機械は完全自動ですか? また、主な操作上の利点は何ですか?

はい、WPM-09HTは完全自動ワイヤストリッパーです。ケーブルジャケットの精密除去を自動化し、生産速度と一貫性を大幅に向上させ、手作業と材料の無駄を削減します。これにより、ワイヤ処理工程でのスループット向上と品質管理の改善が実現します。

このケーブルハーネス機は、どのような用途や産業に最も適していますか?

この工業用ケーブルストリッパーは、電子機器製造、自動車ワイヤハーネス生産、家電組立て、およびジャケットワイヤの大量かつ精密な処理を必要とするあらゆる産業に最適です。「スーパーストリップ」機能により、重要な用途での信頼性の高い接続のために、清潔で損傷のない導体が確保されます。

機械はどのように精度を確保し、剥皮中の内部導体への損傷を防ぎますか?

WPM-09HTは、高精度ブレードシステムと調整可能なクランプ機構を備えています。内部導電ワイヤを傷つけたり引っかいたりすることなく、外部絶縁体またはジャケットをきれいに切断・除去するように設計されており、電気的完全性を確保し、厳格な工業品質基準を満たします。

手動方法と比較して、この自動ワイヤストリッパーを使用する主な利点は何ですか?

手動剥皮と比較して、WPM-09HTは優れた速度、比類のない一貫性、および人間工学的効率を提供します。ばらつきを排除し、オペレーターの疲労を軽減し、スクラップを最小限に抑えます。自動化により、すべての剥皮が同一となり、最終的なケーブルアセンブリの信頼性が向上し、全体的な生産ROIが改善されます。